

平成25年度

# 単位施策評価表

所属 19150000

生活環境部 交通防犯課

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
単位施策目的	誰もが安全・安心に暮らせる環境を確保するため、防犯対策及び交通安全対策の推進を図る							
成果指標	①防犯灯延設置数 ②交通安全教室参加者数 ③歩道設置道路延長							
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [基]	予定	10,745.00	10,945.00	11,145.00	11,345.00	11,600.00	
		実績	10,531.00					
	成果指標2 [人]	予定	5,600.00	5,700.00	5,800.00	5,900.00	6,000.00	
		実績	4,281.00					
		単位コスト	111.03					
	成果指標3 [m]	予定	104,070.00	104,331.00	104,331.00	105,441.00	106,655.00	
		実績	104,070.00					
		単位コスト	4.57					
	成果指標4 [ ]	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定	534,615			0	0	
実績		475,335			0	0		
内部評価	貢献度	犯罪件数・交通事故件数の減少には、防犯灯設置灯数・交通安全教室参加者数の増加や、歩行者の安全施設の整備推進が必要であるため、目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	防犯灯設置灯数は、LED化を優先したため目標に達しなかった。交通安全教室参加者数は、PR不足のため目標に達しなかった。また、歩道設置道路延長は、目標に達した。						
	課題	防犯、交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動を継続的に実施することが必要。また、交通安全施設整備を計画的に推進するためには、十分な財源の確保が必要。						
	取組方針	防犯灯設置は、自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催をHP等を通してPRするとともに、通学路交通安全プログラムを策定し順次整備推進を図る。						
外部評価	<p>成果指標として掲げたもののうち、交通安全教室参加者数が達成されなかったが、当該事業は市民への啓発事業としてとても有効であることから、関心を引く内容の検討とともに更なる周知を図ってほしい。特に、最近自転車走行のマナーが悪いことから、一般向けや中学生向けに自転車教室の開催を検討されたい。</p> <p>また、自転車走行時に、道路に段差があるなど危険な箇所があることから、順次整備を図られたい。さらに、通学路については、ドライバーから視認しやすくするため、カラー化を図り、安全性の向上を図られたい。</p> <p>防犯については、防犯灯及び防犯カメラの設置を進め、特に防犯灯については、各地域の消防団や学校関係者等の意見も参考にし、適正な場所への設置に配慮されたい。</p> <p>最後に、防犯灯のLED化は高く評価できる。継続されたい。</p>							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	114101	交通指導員設置費 (栃木)				36,362	100	
	114103	交通指導員設置費 (藤岡)				1,093	100	
	114104	交通指導員設置費 (都賀)				805	100	
	114105	交通指導員設置費 (西方)				892	100	
	114204	交通安全対策事業費 (都賀)				2,877	100	
	114205	交通安全対策事業費 (西方)				1,081	100	
	114301	防犯事業費 (栃木)				5,121	100	
	114304	防犯事業費 (都賀)				760	100	
	114305	防犯事業費 (西方)				800	100	
114402	防犯灯設置費 (大平)				0	100		



# 事

様式1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020110	予備費コード	114101	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	3201	基本施策	単位施策
事業名	交通指導員設置費(栃木)													
担当部署	生活環境部 交通防犯課 交通防犯チーム													
係・担当者	2		自治事務	根拠法令等		栃木市交通安全に関する条例						担当者	古澤 隆	
事業の性質	事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、(例)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時ににおける交通安全指導を行う。 ・交通安全教室を開催する。 【主要事業】													
事業の概要	(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、(例)を、どういう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) ・交通安全教室の受講者数を増加させる。 ・交通安全教室の受講者数を増加させる。 達成目標 成果 ①防犯灯延設設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する ②交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす ③歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する													

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	270	270
地方債	0	0
その他財源	0	0
一般財源	33,734	33,842
事業費 a	34,004	34,112
人件費 b	2,250	2,250
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	36,254	36,362
結果指標1	56.00	56.00
結果指標2	3,068.00	2,175.00

事業の内容	平成24年度	平成25年度
その成果	・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行った。 ・各種行事開催時に、交通安全教育の推進を図るため、交通安全教室を開催した。 ・交通安全指導員報酬 ・交通安全指導員報酬 【特記事項無し】	・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行った。 ・各種行事開催時に、交通安全教育の推進を図るため、交通安全教室を開催した。 ・交通安全指導員報酬 ・交通安全指導員報酬 【特記事項】 ・指導員委嘱にあたり、新規指導員の制服等の購入。

指標名	算出方法	単位
交通指導員数	(H25目標値：56人)	箇所
交通安全教室受講者数	(H25目標値6,000人)	人
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地
妥当	妥当	無
類似事業の有無	受益者負担	上位貢献度
無	適正	有効
成果向上の余地		
有		

改善内容とその効果を具体的に記入)  
 ・交通安全教室については、市民の受講意欲を高めること等に配慮し、交通安全関係にとらわれず、防犯関係についても併せて、実施していくよう開催者と協議する。

事後評価

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目 020110	予算コード 114102	事業区分 01	経常的事業	新規/その他 2	その他	基本施策	単位施策
事業名	交通指導員設置費 (大平)		大平総合支 大平生活課 生活環境交通チーム		担当者 田山 めぐみ	主 3201	安全安心な暮らしの確保	防犯・交通安全対策の充実	
担当部署	大平総合支 大平生活課		生活環境交通チーム		担当者 田山 めぐみ	従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例					

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのが、対象、手続の記入)</p> <p>・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通安全誘導を行う。</p> <p>【主要事業】</p>	達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)</p> <p>・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。</p>	事業期間 H21 ~ H29	年度	全体事業費 (千円)	1,215
-------	---	------	---	----------------	----	------------	-------

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他財	0	0
一般財源	65	10
事業費 a	65	10
人件費 b	900	1,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	965	1,510
結果指標 1	5.00	5.00
結果指標 2		

事業費 指標の推移	事業の内容	その成果
	<p>平成24年度</p> <p>・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な指導を行う。 ・各種行事開催時において、交通安全誘導を行う。</p>	<p>平成25年度</p> <p>・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な指導を行う。 ・各種行事開催時において、交通安全誘導を行う。</p>
算出方法	指標名	算出方法
	交通指導員数	交通指導員数 5
結果指標 1	5.00	5.00
結果指標 2		

事業改善計画	(改善内容とその効果を実体的に記入) 交通指導員の意思統一、情報の共有化を図るため、会議を開催する。
--------	---

事後評価備考	
--------	--



事

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020110	予算コード	114104	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	交通指導員設置費(都賀)												
担当部署	都賀総合支 都賀生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム												
担当者	坂巻 和孝												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例									
事業の概要	<p>【事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。</li> <li>児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。</li> <li>各種行事開催時における交通整理誘導を行う。</li> </ul> <p>【主要事業】</p>												
主	3201	交通安全の確保											
従	H18～H29年度												
事業期間	H18～H29年度												
全体事業費(人件費除)	1,536千円												

達成目標	<p>事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全の確保を図る。</li> </ul>																					
成果実施目標	<p>①防犯灯延設箇所数…5年間(平成25年度～平成29年度)で1,055基設置する                  ②交通安全教室参加者数…5年間(平成25年度～平成29年度)で500人増やす                  ③歩道設置延長…5年間(平成25年度～平成29年度)で2,945m延長する</p>																					
事業の内容	<p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。</li> <li>各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。</li> </ul>																					
その成果	<p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。</li> <li>各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。</li> </ul>																					
事業費・指標の推移	単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込																			
国庫支出金	0	0	0																			
県支出金	0	0	0																			
地方債	0	0	0																			
その他特財	0	0	0																			
一般財源	102	102	55																			
事業費 a	102	102	55																			
人件費 b	750	750	750																			
減価償却費 c																						
総事業費 a+b+c	852	852	805																			
結果指標 1	4.00	4.00	4.00	指標名	交通指導員数	算出方法	交通指導員数 H25目標数値:4人	単位	人	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有
結果指標 2	190.00	190.00	189.00	活動日数	活動日数	算出方法	活動日数 H25目標数値:190日	単位	日	事業の事後評価	妥当	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有

事業改善計画	<p>(改善内容とその効果を具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の交通安全を未然に防止している。</li> </ul>																						
事業評価																							

# 事

様式1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020110	事務事業コード	114105	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策																																
事業名	交通指導員設置費(西方)			西方総合支 生活環境交通担当 生活環境交通チーム		担当者	望月 英治	主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実																																	
担当部署	西方総合支			西方生活課		生活環境交通担当	生活環境交通チーム	主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実																																	
係担当	2			自治事務		根拠法令等		従		事業期間		H18 ~ H29 年度	全体事業費 (千円)	495																															
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、催(開)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手続の記入)          交通指導員に下記の業務をさせるための業務          ・児童園児等の登校時の安全な送迎          ・歩行者及び自転車通行者に対する正しい交通の指導          ・交通安全に関する広報活動の推進及び意見の整理誘導          ・催し物等に各種行事開催時における交通安全上必要と認められた事項 【主要事業】</p>																																												
事業費	<p>平成24年度決算額 平成25年度決算見込</p> <table border="1"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他財源</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>30</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>事業費 a</td> <td>30</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>人件費 b</td> <td>675</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>減価償却費 c</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総事業費 a+b+c</td> <td>705</td> <td>892</td> </tr> <tr> <td>結果指標 1</td> <td>3.00</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>結果指標 2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												国庫支出金	0	0	県支出金	0	0	地方債	0	0	その他財源	0	0	一般財源	30	142	事業費 a	30	142	人件費 b	675	750	減価償却費 c			総事業費 a+b+c	705	892	結果指標 1	3.00	3.00	結果指標 2		
国庫支出金	0	0																																											
県支出金	0	0																																											
地方債	0	0																																											
その他財源	0	0																																											
一般財源	30	142																																											
事業費 a	30	142																																											
人件費 b	675	750																																											
減価償却費 c																																													
総事業費 a+b+c	705	892																																											
結果指標 1	3.00	3.00																																											
結果指標 2																																													
事業の内容	<p>平成24年度</p> <p>○児童、園児等の登校時の交差点での立哨          →児童園児の安全確保          ○歩行者及び自転車、歩行者への交通教室の参加→正しい交通ルールの指導          ○各種行事開催時の歩行者交通誘導          →来場者の安全確保</p> <p>平成25年度</p> <p>○児童、園児等の登校時の交差点での立哨          →児童園児の安全確保          ○歩行者及び自転車、歩行者への交通教室の参加→正しい交通ルールの指導          ○各種行事開催時の歩行者交通誘導          →来場者の安全確保</p>																																												
事業費・指標の推移	<table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>算出方法</td> <td>単位</td> <td>事業の事後評価</td> <td>妥当性</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>受益者負担</td> <td>上位貢献度</td> <td>類似事業の有無</td> <td>成果向上の余地</td> </tr> <tr> <td>結果指標 1</td> <td>交通指導員設置箇所</td> <td>人</td> <td>交通指導員数 E25目標値 3人</td> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>結果指標 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> </table>												指標	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	結果指標 1	交通指導員設置箇所	人	交通指導員数 E25目標値 3人	妥当	無	適正	有効	無	無	結果指標 2				妥当	無	適正	有効	無	無			
指標	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																																				
結果指標 1	交通指導員設置箇所	人	交通指導員数 E25目標値 3人	妥当	無	適正	有効	無	無																																				
結果指標 2				妥当	無	適正	有効	無	無																																				

(改善内容とその効果を具体的に記入)  
 効率的に事務執行に努める。交通指導員の意志統一を図るため月1回会議開催。

事後評価備考

事

様式 1

板木市事務事業評価表

平成 2 5 年度

会計	一般	款項目	020113	事業コード	114401	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策	
事業名	防犯灯設置費														
担当部署	生活環境部 交通防犯課														
係担当者	チーム														
事業の性質	2	自治事務	権委託等	板木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱											

主	3201	安全安心な暮らしの確保	事業期間	S 3 7 ~ H 2 9	年度		全体事業費	58,899	千円
従							(1件算除)		

事業の概要  
 (事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、確(仰)を、どう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)  
 ・市民の安全と犯罪の防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。  
 ・市管理の防犯灯の電気料の支払をする。  
 【主要事業】

達成目標  
 (事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)  
 ・自治会の申請に基づき、必要な箇所効果的に防犯灯を設置する。  
 ・新規住宅街、新設道路の開通、店舗の開業等、様々な状況に併せ、柔軟に対応し新設、撤去、移設を行うようにする。

成果目標  
 ①防犯灯設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する  
 ②交通安全教養参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす  
 ③歩道設置距離延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特種	0	0
一般財源	6,063	0
事業費 a	6,063	0
人件費 b	2,250	0
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	8,313	0
結果指標 1	165.00	0.00
結果指標 2	37.00	0.00

事業費・指標の推移  
 事業の内容  
 ・自治会からの申請に基づき、防犯灯の新設及び移設等を行った。  
 【成果】  
 新設等 165灯  
 【特記事項】  
 新規住宅街や新設道路への防犯灯の設置

事業の内容	その成果
【特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>L E D 化事業へ統合。</li> <li>平成26年度からL E D タイプ防犯灯の新設等を行う。</li> </ul>

指標名	算出方法	単位
工事灯数	設置灯数+その他工事灯数	灯
1灯あたりの設置費用	設置費決算額/工事灯数	千円

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

事業改善計画  
 (改善内容とその効果を具体的に記入)  
 1. 自治会からの申請を十分に尊重しつつ、より効果的な箇所への設置を検討し、必要があれば自治会と協議する。  
 2. 不要になった防犯灯器具の流用等により、コストを縮減する。

事業

様式1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020113	予算事業コード	F 114402	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策			
事業名	防犯灯設置費(大平)																	
担当課	大平総合支、大平生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム																	
係・担当者	2		自治事務	根拠法令等		栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱						事業期間	H22 ~ H26	年度		全体事業費 (人件費除)	11,032	千円
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、(例)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手続の記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の安全と犯罪の防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。</li> </ul> <p>【主要事業】</p>																	
達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。</li> <li>・新規住宅地、新設道路の開通、店舗の閉鎖等、様々な状況に併せ、柔軟に対応し新設、撤去、移設を行うようにする。</li> </ul>																	
成果目標	<p>①防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する                  ②交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす                  ③歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する</p>																	

単位:千円、人	平成24年度	平成25年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他特財	0	0	0
一般財源	4,191	4,191	0
事業費 a	4,191	4,191	0
人件費 b	3,750	3,750	0
減価償却費 c			
総事業費 a+b+c	7,941	7,941	0
結果指標1	38.00	49.00	
結果指標2			

事業費・指標の推移	事業の内容	【事業の内容】 ・自治会からの申請に基づき、防犯灯の新設及び移設等を行う。	その成果	【事業の内容】 ・自治会からの申請に基づき、防犯灯の新設及び移設等を行う。
	指標名	算出方法	申請基数	H25目標数値:50
総事業費	a+b+c		7,941	0
結果指標1			38.00	49.00
結果指標2				

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請の受理及び現地確認等による適正管理。									
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
------	---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---



# 事

様式1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020113	予算コード	F114404	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	主	3201	基本施策	単位施策
事業名	防犯灯設置費(都賀)														
担当部署	都賀総合支 都賀生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム														
担当者	鈴木 健司														
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等 栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱												

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、難(何)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)</p> <p>・市民の安全と犯罪防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。</p> <p>【主要事業】</p> <p>達成目標</p> <p>・事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標</p> <p>・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。</p>												
単位の推移	千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込										

事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他特財	0	0
	一般財源	880	880
	事業費 a	880	880
	人件費 b	750	150
	減価償却費 c		
	総事業費 a+b+c	1,630	1,030
	結果指標 1	16.00	95.00
	結果指標 2		

事業の内容	平成24年度	平成25年度
その成果	<p>・自治会からの申請に基づき、防犯灯の新設及び移設等を行う。</p>	<p>自治会からの申請の受理及び現地確認。</p>

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
算出方法	指標名	申請基数	H25目標数値:50灯	申請基数	95.00	単位の単位	灯					

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請の受理及び現地確認等による適正管理。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業計画番号	
--------	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020113	予算科目コード	114405	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	防犯灯設置費 (西方)												
担当部課	西方総合支 西方生環課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム												
係担当チーム名	西方総合支 西方生環課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等										
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入) 自治会の要望に基づき防犯灯の新設、移設を行う 【主要事業】												

単位:千円、人	平成24年度産決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特助	0	0
一般財源	129	0
事業費 a	129	0
人件費 b	750	750
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	879	750
結果指標 1	8.00	24.00
結果指標 2		

事業費・指標の推移	事業の内容	その成果
	○自治会の要望に基づき防犯灯の新設業務 →夜間の道路危険箇所への減少	○自治会の要望に基づき防犯灯の新設業務 →夜間の道路危険箇所の減少 平成25年度から本庁一本化 ・支所では自治会からの要望書受付

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	無
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入)  
 ・効率的に事務執行に努める。  
 ・自治会に公平、平等に設置するように努める。

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	020110	予算コード	114902	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	主	3201	基本施策	単位施策
事業名	交通安全施設整備事業費(大平)														
担当部署	大平総合支 大平生活課 生活環境交通担当														
係担当者	田川 隆一														
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等												
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入) ・交通安全施設の設置、修繕 【主要事業】														

達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) ・交通事故発生件数を減少させる。											
成果	①防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する ②交通安全教養参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす ③歩道設置延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する											

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込										
国庫支出金	0	0										
県支出金	0	0										
地方債	0	0										
その他特財	0	0										
一般財源	2,131	2,131										
事業費 a	2,131	2,131										
人件費 b	2,250	2,250										
減価償却費 c												
総事業費 a+b+c	4,381	2,250										
結果指標 1	30.00	0.00										
結果指標 2												

事業費・指標の推移	事業の内容 その成果 【事業の内容】 ・自治会からの要望に基づき、カーブミラーの設置を行う。 【事業の内容】 ・市道各号線交通安全施設整備事業(大平)に統合。											
事業費	指標名	算出方法	単位	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	交通安全施設の設置数	交通安全施設の設置数 30	箇所	妥当	無	適正	有効	無	有			
結果指標 2				妥当	無	適正	有効	無	有			

(改善内容とその効果を具体的に記入)  
 平成25年度より、市道各号線交通安全施設整備事業(大平)に統合。  
 申請箇所にはミラー、区画線が必要かどうかを検討することにより効率性を向上させる。

事後評価												
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080203	予算科目コード	403001	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策		
事業名	市道A1号線交通安全施設整備事業費（栃木市町）																
担当部課	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム																
係担当チーム名	担当者 増山 輝之																
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法									事業期間	H18～H26	年度	305,000	千円

（事業完了（事業期間のない事業は平成30年度）の目標）  
 市道A1号線を用地買収、歩道の整備により、歩車道を分離する。  
 場所 延床 205.0m、歩道幅員2.5m×2、完成道路幅員11.5m  
 用地取得 770㎡、地権者数14名  
 物件補償 10件、権利者数11名  
 【主要事業】

達成目標  
 ①防犯灯延設設置数…5年間（平成25年度～平成29年度）で1,055基設置する  
 ②交通安全教室参加者数…5年間（平成25年度～平成29年度）で500人増やす  
 ③歩道設置延長…5年間（平成25年度～平成29年度）で2,945m延長する

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	12,265
県支出金	0	0
地方債	34,600	11,100
その他特財	0	0
一般財源	3,902	1,293
事業費 a	38,502	24,658
人件費 b	1,500	1,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	40,002	26,158
結果指標 1	65.00	65.00
結果指標 2	81.02	89.11

事業の内容  
 手数料  
 土地鑑定評価  
 業務委託  
 物件等調査算定(再積算)  
 用地取得  
 ①用地取得 A=41.77㎡ 1筆  
 ②物件補償 建物ほか 1件

その成果  
 業務委託  
 物件等調査算定(再積算)  
 交通安全施設整備工事[翌年度に繰越]  
 L=106.8m  
 用地取得[翌年度に繰越]  
 ①用地取得 A=45.30㎡ 2筆  
 ②物件補償 建物ほか 2件

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 1. 事業費コストの削減 ①用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 ②再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト削減 ○事業地取得に要する期間短縮→円滑な移転ができるような方策の検討											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業評価書	用地取得に期間を要したため、交通安全施設工事等を平成26年度に実施する。											
-------	--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
---------	-----	----	----------	---	-------	----	-------	----	---------	---	---------	---

算出方法	単位
指標名	歩道整備延長
指標値	H25目標値：205m
事業進捗率	実績事業費÷全体事業費×100
指標値	H25目標値：100%



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	405301	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	市道 A 1 号線交通安全施設整備事業費 (栃木入舟町)												
担当課	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム												
係担当	担当者 横山 輝之												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等 道路法										
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までの、種(種)を、どう方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)</p> <p>市道A1号線を用地買収、歩道の整備により歩車道を分離する。</p> <p>・歩道整備工事 L=110m, W=2.5m(完成道路幅員 11.5m)</p> <p>・用地取得 約700㎡</p> <p>・物件補償 建物5棟、他工作物等</p> <p>【主要事業】</p>												
達成目標	<p>(事業期間のない事業は平成30年度)の目標</p> <p>・通学児童や買い物客など歩行者の交通安全を確保し、車道の円滑な通行を図る。</p> <p>・市庁舎周辺への交通を誘導すると共に、安全で快適な道路環境を確保する。</p>												
達成目標	<p>①防犯灯延設設置数…5年間(平成25年度～平成29年度)で1,055基設置する</p> <p>②交通安全教室参加者数…5年間(平成25年度～平成29年度)で500人増やす</p> <p>③歩道設置距離延長…5年間(平成25年度～平成29年度)で2,945m延長する</p>												
事業期間	H25～H30年度												
全体事業費(人件費除)	200,000千円												

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	2,500	2,500
その他財源	0	0
一般財源	304	304
事業費 a	2,804	2,804
人件費 b	1,500	1,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	4,304	4,304
結果指標 1	0.00	0.00
結果指標 2	1.40	1.40

平成 24 年度

平成 25 年度

事業の内容	業務委託
その成果	<p>①用地測量</p> <p>②路網測量</p> <p>③詳細設計</p>

指標名	算出方法	単位
歩道整備延長	H25目標数値: 0m	m
事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	%
結果指標 1	0.00	
結果指標 2	1.40	

事業改善計画	(改善内容とその効果を見具体的に記入)
1. 事業費コストの削減	①用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討及び決定
2. 時間管理の活用による建設コストの削減	②年度予算の活用による建設コストの削減
3. 事業地取得に要する期間短縮→円滑な移転ができるような方策の検討	

事後評価	
------	--





栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080203	予算コード	408103	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2	その他		基本施策		単位施策		
事業名	市道F32号線交通安全施設整備事業費(藤岡大前本郷)															
担当課	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設担当 道路整備チーム															
係担当チーム名	藤岡総合支 藤岡都建課 都市建設担当 道路整備チーム															
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		担当者		田中 修	主 3201		安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
事業の概要	(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道F32号線(藤岡大前本郷)を、歩行者の安全確保のため歩道整備する。 L=500m W=2.5m 【主要事業】															
達成目標	(事業終了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 安全で快適な通行を確保する。															
事業期間	H20～		H29		年度						全体事業費 (千円)		245,000		千円	

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込	
国庫支出金	0	0	
県支支出金	0	0	
地方債	12,000	7,600	
その他補助	0	0	
一般財源	1,350	884	
事業費 a	13,350	8,484	
人件費 b	750	750	
減価償却費 c			
総事業費 a+b+c	14,100	9,234	
結果指標 1	35.47	38.93	事業進捗率
結果指標 2	70.00	183.00	歩道整備延長

事業の内容	その成果
平成24年度 歩道整備工事 L=134.1m ※舗装を除く	平成25年度 歩道整備工事 L=134.1m ※舗装工事
指標名	算出方法
事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100(425目標数値：38.93%)
歩道整備延長	累積整備延長(125目標数値：183m)
事業の事後評価	
妥当性	妥当
コスト削減の余地	有
受益者負担	適正
上位貢献度	有効
類似事業の有無	無
成果向上の余地	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)  
 L=134.1mの歩道整備工事を実施。  
 平成26年度は栃木県が蓮花川護岸改修工事の計画業務を実施するため一時事業を休止し、栃木県の事業計画内容により、平成27年度より蓮花川の歩道専用橋梁設計業務を実施すると共に、計画的に事業を推進したい。  
 事業費コストの削減  
 再生資源の活用による建設コストの削減。

事業改善計画	
事業費削減	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 25 年度

会計	一般	款項目	080202	事業コード	414601	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	市道各号線交通安全施設整備事業費 (栃木)												
担当部署	建設水道部 道路課 道路維持担当 道路維持チーム												
係・担当者	2 自治事務 根拠法令等 道路法												
事業の性質	主 3201 安全安心な暮らしの確保												
事業の概要	従 事業期間 H18 ~ H29 年度 全体事業費 (人件費除) 135,400 千円												

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標)</p> <p>安全で快適な通行を確保する。</p> <p>0601</p>	
達成目標	<p>0601</p> <p>①防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する</p> <p>②交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす</p> <p>③歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する</p>	

単位：千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	12,000
その他特財	0	0
一般財源	9,000	6,995
事業費 a	9,000	18,995
人件費 b	750	750
減価償却費 c		

事業費・指標の推移	平成24年度	平成25年度
事業の内容	交通安全施設工事 市道A4号線外街路灯整備工事	交通安全施設工事 市道A4号線外街路灯整備工事
その成果		

事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
算出方法	<p>指標名</p> <p>整備箇所数</p> <p>当該年度整備箇所数 H25目標数値：13箇所</p>											
結果指標 1	23.00											
結果指標 2	13.00											

事業改善計画

(改善内容とその効果を具体的に記入)

再生資源の活用による建設コストの削減

# 事業

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080202	予算科目コード	41.4602	事業区分	02 政策的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策
事業名	市道各号線交通安全施設整備事業費 (大平)										
担当部署	大平総合支 大平都整課 道路管理担当 道路管理チーム										
係担当チーム名	大平総合支 大平都整課 道路管理担当 道路管理チーム										
事業の性質	2 自治事務	根拠法令等	道路法								
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、確(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)</p> <p>交通安全施設設置</p> <p>【主要事業】</p>										

達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、確(何)を、どうしたいのか。対象、手段の記入)	
0601	交通安全施設整備事業費(人件費除)	
成果目標	①防犯灯設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,055基設置する ②交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす ③歩道設置延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する	
事業の内容	平成24年度	平成25年度
交通安全施設工事	交通安全施設工事	交通安全施設工事
・区画線	・区画線	・区画線
・交差点予告文字等	・交差点予告文字等	・交差点予告文字等
事業費、指標の推移	平成24年度	平成25年度
単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算額
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他特財	0	0
一般財源	3,806	14,026
事業費 a	3,806	14,026
人件費 b		750
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	3,806	14,776
結果指標 1	10.00	14.00
結果指標 2		

算出方法	単位	事業の事後評価
当該年度整備箇所数 H25目標数値: 14.00箇所	箇所	妥当性 妥当
		コスト削減の余地 無
		受益者負担 適正
		上位貢献度 有効
		類似事業の有無 無
		成果向上の余地 有

(改善内容とその効果を具体的に記入)

危険性の高い箇所について、交通安全施設整備を進める。

事後評価備考



# 事業

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080202	予算科目コード	41.4604	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	市道各号線交通安全施設整備事業費(都賀)												
担当部課	都賀総合支 都賀都建課 都市建設担当 建設チーム												
係・担当者	2 自治事務 根拠法令等 道路法 担当者 三室 哲也												
事業の性質	2 自自治事務 根拠法令等 道路法												

事業期間	H24 ~ H29 年度	年度	全体事業費 (人件費除)	千円
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までの、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのが、対象、手段の記入) 市内各路線の危険性の高いと認められる箇所について、交通安全施設(歩道・照明施設・側溝蓋設置、区画線、ガードレール等)の整備を実施する。</p> <p>【主要事業】</p> <p>達成目標</p> <p>成果目標</p>			

単位: 千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込	事業の内容	その成果
国庫支出金	0	0	交通安全施設工事 一式	交通安全施設工事 一式
県支出金	0	0		
地方債	0	0		
その他特財	0	0		
一般財源	892	756		
事業費 a	892	756		
人件費 b	375	375		
減価償却費 c				
総事業費 a+b+c	1,267	1,131		
結果指標 1	9.00	11.00		
結果指標 2				

算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
算出方法	算出方法	算出方法	妥当	無	適正	有効	無	有
算出方法	算出方法	算出方法	妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 再生資源の活用による建設コストの削減
事後評価番号	

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080202	予算コード	414605	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	市道各号線交通安全施設整備事業費(西方)												
担当部署	西方総合支 西方産建課 都市建設担当 都市建設チーム												
担当チーム名	西方総合支 西方産建課 都市建設担当 都市建設チーム												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法								

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、確(前)定、どのような方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入) 交通安全施設の設置 【主要事業】												
達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) 交通安全危険箇所を解消する。												

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他財源	0	0
一般財源	3,072	1,398
事業費 a	3,072	1,398
人件費 b	1,500	1,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	4,572	2,898
結果指標 1	10.00	5.00
結果指標 2		5.00

事業の内容	交通安全施設設置工事(カーブミラー・ガードレール・区画線等)設置、修繕計 10箇所	交通安全施設設置工事(カーブミラー・ガードレール・区画線等)設置、修繕計 5箇所
その成果		
指標名	指 標 名	算出方法
実績箇所数	当該年度実績箇所数	H25目標値 5.00箇所
要望箇所数	当該年度要望箇所数	H25目標値 5.00箇所
事業の事後評価	妥当性	妥当
コスト削減の余地	無	無
受益者負担	適正	適正
上位貢献度	有効	有効
類似事業の有無	無	無
成果向上の余地	有	有

(改善内容とその効果を具体的に記入)  
 危険性の高いと認められる箇所について、交通安全施設整備を実施する。

栃木市事務事業評価表

平成 2 5 年度

会計	一般	款項目	080203	予算科目コード	491901	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策	単位施策
事業名	市道205号線交通安全施設整備事業費(栃木箱森町)												
担当部署	建設水道部 道路課 道路整備チーム												
係担当	担当者 増山 輝之												
事業の性質	2 自治事務 根拠法令等 道路法												

主	3201	従	
達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)の目標) ・通学児童や歩行者の交通安全を確保する。		
成果目標	①防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,065基設置する ②交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500人増やす ③歩道設置距離延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で2,945m延長する		

単位:千円、人	平成24年度決算額	平成25年度決算見込
国庫支出金	0	0
県支出金	0	0
地方債	2,800	6,000
その他財源	0	0
一般財源	402	775
事業費 a	3,202	6,775
人件費 b	1,500	1,500
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	4,702	8,275
結果指標 1	0.00	10.00
結果指標 2	0.84	2.63

事業費・指標の推移	業務委託 ①用地測量 ②路線測量 ③地質調査 ④歩道詳細設計	平成24年度	平成25年度
事業の内容	交通安全施設(歩道橋)工事 L=10m、W=3.0m		
その成果	用地取得 ①用地取得 12.35㎡ 1筆 ②物件補償 電柱移設		

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
道路整備延長	H24目標値:10m	m	妥当	妥当	有	適正	有効	無	有
事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	%	妥当	妥当	有	適正	有効	無	有
	H25目標値:2.63%								

(改善内容とその効果を具体的に記入)

1. 事業費コストの削減  
 ①用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定  
 ②再生資源の活用による建設コストの削減  
 2. 時間管理のコスト削減

○事業地取得に要する期間短縮→円滑な移転ができるような方策の検討

休止

事後評価備考

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計	一般	款項目	080203	予算科目コード	492001	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	1	新規	主	3201	基本施策	単位施策
事業名	市道107号線交通安全施設整備事業費(栃木本町・城内町1丁目)														
担当部署	建設水道部 道路課														
係担当者	増山 輝之														
事業の性質	2	自治事務	道路法												
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか、対象、手段の記入)                  本町・城内町1丁目地内の市道107号線を用地買収・歩道設置等により歩車道を分離する。</p> <p>・歩道整備工事 L=175.0m W=2.0m                  ・用地取得 約440㎡                  ・物件補償 建物4棟、他工作物等                  【主要事業】</p>														
達成目標	<p>①防犯灯延設箇所…5年間(平成25年度～平成29年度)で1,055基設置する                  ②交通安全教室参加者数…5年間(平成25年度～平成29年度)で500人増やす                  ③歩道設置距離延長…5年間(平成25年度～平成29年度)で2,945m延長する</p>														
事業費	<p>平成24年度 平成25年度</p> <p>事業の内容 その成果</p> <p>用地取得 A=158.07㎡ 1筆</p>														
単位:千円、人	平成24年度	平成25年度	平成25年度決算買込												
国庫支出金	0	0	0												
県支出金	0	0	0												
地方債	5,200	5,200	5,200												
その他特財	0	0	0												
一般財源	649	649	649												
事業費 a	5,849	5,849	5,849												
人件費 b	1,500	1,500	1,500												
減価償却費 c	0	0	0												
総事業費 a+b+c	7,349	7,349	7,349												
結果指標 1	0.00	0.00	0.00												
結果指標 2	3.90	3.90	3.90												
算出方法	<p>歩道整備延長 累積整備延長 E25目標数値:0m</p> <p>事業進捗率 累積事業費÷全体事業費×100 E25目標数値:0%</p>														
事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有			

(改善内容とその効果を具体的に記入)

- 事業改善計画
- 事業費コストの削減
    - 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定
    - 再生資源の活用による建設コストの削減
  - 時間管理のコスト削減
    - 事業地取得に要する期間短縮→円滑な移転ができるような方策の検討

事業費と標準

# 事業

様式1

## 栃木市事務事業評価表

平成25年度

会計一般	款項目	497301	02 政策的事業	新規/その他	2 その他	基本施策	単位施策
事業名	通学路安全施設整備事業費		02 政策的事業	新規/その他	2 その他	安全安心な暮らしの確保	防犯・交通安全対策の充実
担当部課	建設水道部	道路課	道路維持担当	道路維持チーム			
担当係	2	自治事務	根拠法令等				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				
事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成30年度)までは、確(荷)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)                  通学路の安全を確保するため、関係機関の連携による通学路の安全点検および即効性のある対策を講じる。                  【主要事業】</p>						

達成目標	0601	事業期間	H24 ~ H29 年度	全体事業費 (人件費除)	33,000 千円
事業の内容	<p>平成24年度                  通学路上の危険箇所について即効性のある対策を講じ、危険を縮小・解消する。</p>				
その成果	<p>平成25年度                  通学路の安全点検により明らかになった危険箇所について即効性のある対策を講じ、危険を縮小・解消する。</p>				

事業費・指標の推移	平成24年度	平成25年度
国庫支出金	0	1,430
県支出金	0	0
地方債	0	0
その他財	0	0
一般財源	3,000	4,570
事業費 a	3,000	6,000
人件費 b	2,250	2,250
減価償却費 c		
総事業費 a+b+c	5,250	8,250
結果指標1	6.00	9.00
結果指標2		

事業改善計画	算出方法	単位	事業の事後評価
(改善内容とその効果を具体的に記入) 国が示した実施要領に基づき実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、ライン処理等により注意喚起・視認性向上を図った。	危険の縮小・解消のための措置を実施した箇所数 : 10箇所	BE5目標数値 箇所	妥当性 妥当
			コスト削減の余地 有
			受益者負担 適正
			上位貢献度 有効
			類似事業の有無 無
			成果向上の余地 有

本事業は、教育委員会が実施する通学路の安全点検の結果に基づき、交通防犯課、教育総務課等関係課と連携しながら実施した。